

「写真を通じて学ぶ映像身体学の10冊」

現代心理学部 准教授 日高 優



- 1.『ベルクソン哲学の遺言』 前田英樹著(岩波現代全書 2013年)
- 2.『自然の鉛筆』 ウィリアム・ヘンリー・フォックス・トルボット著(赤々舎 2016年)
- 3.『明るい部屋:写真についての覚書』 ロラン・バルト著(みすず書房 1985年, 新版 1997年)
- 4.『Sakura』(写真集) 鈴木理策著(エディション・ノルト 2016年)
- 5.『太陽:野口里佳』(写真集) 野口里佳著(NOHARA 2009年)
- 6.『Tokyo view』(写真集) 鬼海弘雄著(かぜたび舎 2016年)
- 7.『映画=イメージの秘蹟』 前田英樹著(青土社 1996年)
- 8.『記憶と生』 アンリ・ベルクソン著 ジル・ドゥルーズ編 前田英樹訳(未知谷 1999年)
- 9.『身体と空間』 小林康夫著(筑摩書房 1995年)
- 10.『絵画の二十世紀:マチスからジャコメッティまで』 前田英樹著(NHKブックス 2004年)

映像身体学とは、〈知覚〉を巡り拓かれた、ひとつの思考の領域である。世界は、それを知覚する身体、身体を持った人間に対して、顕われてくる。写真という映像も、それを知覚して見る身体がなければ、写真として生きられない。写真という映像の原理はとてもシンプルで、光という質料の運動を押しとどめたものだ。出発点は光であり、カメラという機械による知覚こそが写真の本質。人間を介さない世界に対する直接性ゆえに、写真は人間にとって眩目すべき存在となる。要するに、写真を通じて、映像身体学を学ぶとは、光を通じて世界に、人間のありように深く降りてゆき為される営為なのだ。機械による知覚と身体による知覚との本性の差異を捉えるところで潜ったうえで、写真家という人間に現実化され生み落とされる写真映像を観るのである。

1は、直接は写真を扱わないが、生きて思考することのありようや方法、意味とを伝える。それと共に、知覚、持続、記憶といった映像身体学のエッセンスを凝縮させる。ところで、写真は光の運動を押しとどめたものという事実は、デジタル時代の現在も変わりはないが、見えにくくなった。光という出発点を改めて感じるために、写真術開発者による世界初の写真集2、写真論の必読の3、現代作家の写真集4~6をご堪能あれ。7・10は、映像身体学の理論、並びにその鮮やかな展開を、正確かつ瑞々しい硬質の美しさで示す。7は難しくも感じられようが、果敢に挑戦するのも大学生らしく良からう。第三章「存在の静止について」は、映画の中の写真を論じながら、秀逸な写真論となっている。7を支える哲学の学びを深めたい方には、8をすすめる。「解題」も素晴らしい。9は写真の時間、光という質料の問題を、作品論のうえに結晶化させる論考を収める。10は、写真なる映像がいかに絵画を内側から変革させたか、知覚の問題から書き起こしながら、「絵画は何のために在るのか」という問いへと、画家たちの傑出した仕事を通して、読者を運んでくれる。

セセンスを凝縮させる。ところで、写真は光の運動を押しとどめたものという事実は、デジタル時代の現在も変わりはないが、見えにくくなった。光という出発点を改めて感じるために、写真術開発者による世界初の写真集2、写真論の必読の3、現代作家の写真集4~6をご堪能あれ。7・10は、映像身体学の理論、並びにその鮮やかな展開を、正確かつ瑞々しい硬質の美しさで示す。7は難しくも感じられようが、果敢に挑戦するのも大学生らしく良からう。第三章「存在の静止について」は、映画の中の写真を論じながら、秀逸な写真論となっている。7を支える哲学の学びを深めたい方には、8をすすめる。「解題」も素晴らしい。9は写真の時間、光という質料の問題を、作品論のうえに結晶化させる論考を収める。10は、写真なる映像がいかに絵画を内側から変革させたか、知覚の問題から書き起こしながら、「絵画は何のために在るのか」という問いへと、画家たちの傑出した仕事を通して、読者を運んでくれる。

[Information]

2017年秋、新座図書館が変わりました!

少し



1階・レイアウト変更

1階閲覧エリアのレイアウトが変わりました。通路を広げ通りやすくなり、閲覧機の配置を変え、資料の企画展示もできるようになりました。図書館の奥(ゲート入って左折)までぜひ見に来てください。



1階・ノートPC増設

1階のノートパソコン席が増えました。今まであったPC席も、画面の大きいデスクトップパソコンになって使いやすくなりました。秋学期に入り、毎日たくさんの方に利用されています。



2階・PCヘルプデスク スタート

2階しおりカウンターに「PCヘルプデスク」ができました。PC貸出に加え、パソコンに関するいろいろな質問もできるようになって、さらに利用しやすくなりました。

Your Library 第41号(通号100) 発行日 2017年12月8日

編集 小林 憲太郎 (図書館副館長) <http://library.rikkyo.ac.jp/>
 発行人 豊田 由貴夫 (図書館長) 連絡先 TEL 03-3985-2628
 発行 立教大学図書館 印刷 立教プリンティングステーション



Your Library

立教大学図書館だより No.41 | 2017.12.08 | ISSN 1883-1303

特集

通号100号

記念

~創刊号 'カレイNo.1' から

最新号 'Your Library 第40号 (通号99) までを振り返る~

読書ナビ

日高 優准教授

現代心理学部



立教大学 図書館広報誌 HISTORY

今回の通号100号特集では、時代の流れと共に、様々な進化を遂げた立教大学図書館を1995年創刊の旧広報誌「カレイ」(通号1~59号)から、現広報誌「Your Library」(通号60~99号)までを通して振り返ります。

1995~1997年



●カレイ-1(通号1): 1995.4.6発行
図書館の役立つ最新情報誌『カレイ:かれんといんふおめーしょん』創刊!タイトル横の絵が「ヒラメ」(左向き)に...3号から「カレイ」(右向き)に修正しました。



●カレイ-5(通号5): 1995.12.11発行
AVブース2台設置、図書館に初めて視聴覚資料を見られる機器が導入されました。



●カレイ-7(通号7): 1996.4.8発行
入館ゲート登場。それまでは、受付で学生証を提示し入館していました。



●カレイ-11(通号11): 1996.12.11発行
学生の皆さんの希望図書を購入するリクエスト制度がスタート。

2001~2002年



●カレイ-33(通号33): 2001.7.7発行
池袋キャンパスに、人文科学系・社会科学系・自然科学系の3つの学系図書館が順次開館。



●カレイ-31(通号31): 2001.1.10発行
開館3周年をむかえた武蔵野新座図書館を特集しました。



●カレイ-36(通号36): 2002.4.10発行
研究図書館(3学系図書館)と学習図書館(本館[現:メーザーライブラリー記念館])が揃い、総合的に研究・学習を支えられるようになりました。

1998~2000年



●カレイ-18(通号18): 1998.4.10発行
1990年の新座キャンパス開校から8年、待望の武蔵野新座図書館(現:新座図書館)、ついにオープン!



●カレイ-23(通号23): 1999.1.8発行
図書館資料の購入から閲覧までの流れを紹介しました。



●カレイ-29(通号29): 2000.7.5発行
「山手線沿線私立大学図書館コンソーシアム」がスタート。

2003~2007年



●カレイ-40(通号40): 2003.4.10発行
新入生歓迎の特集号を発行!



●カレイ-45(通号45): 2004.7.22発行
進化、深化を遂げる、オンラインデータベースをクローズアップ。



●カレイ-47(通号47): 2005.1.25発行
今、何借りている? 「MyLibrary」サービス開始。



●カレイ-56(通号56): 2007.4.1発行
どれを受けようかな? 資料の探し方や情報検索など、さまざまな講習会をご案内。

2008年~現在



●Your Library-1(通号60): 2008.4.1発行
『カレイ』から『Your Library』に生まれ変わりました。オールカラーで一層充実した内容に。



●Your Library-7(通号66): 2009.10.22発行
正課と図書館で連携し、情報リテラシー教育を推進。



●Your Library-10(通号69): 2010.6.22発行
図書館はレポート作成の強い味方。皆さん活用してくださいね!



●Your Library-22(通号81): 2012.12.18発行
池袋図書館が全館オープン! 「ラーニング・スクウェア」、「グループ学習室」など、学習を支援するエリアが登場。



●Your Library-13(通号72): 2011.1.24発行
キリスト教関連コレクションを紹介。色あざやかな聖書も。



●Your Library-26(通号85): 2013.11.29発行
図書館資料の書架デビューまでを紹介 & 池袋図書館入館者100万人突破!



●Your Library-37(通号96): 2016.7.8発行
「READ統合検索」スタート。さまざまな媒体の資料への素早いアクセスが可能になりました。



●Your Library-39(通号98): 2017.4.1発行
4月、図書館内をめぐるクイズラリーやスタンプラリーなどを実施しています。図書館の使い方を知って、学生生活を充実させよう!



●Your Library-30(通号89): 2014.10.3発行
進化を続ける新座図書館を徹底解剖。

図書館長 豊田由貴夫教授からのメッセージ



Your Libraryは前身である「カレイ」を含めて通算で100号を迎えました。この間、図書館をできるだけ多くの人に使ってもらうという考えの下で、毎回様々な記事を書かせてきました。立教大学の図書館は、池袋図書館が3年前に日本図書館協会建築賞をいただくなど、外部から高い評価を得ています。見学にいらっしゃる方からも、充実した施設に対してお褒めの言葉をいただきます。しかし私がかもっとも誇りに思うのは、その利用者の多さです。外部の方からも、たくさんの方が利用しているのですね、みなさんよく勉強しているのですね、という感想を数多く受けとります。そうです。図書館は皆さんに利用されてこそ価値があるのです。その点で立教大学の図書館は誇るべき存在になっています。今後ともより多くの人に利用してもらえるよう、職員一同、関係者一同で工夫を凝らしていきたいと思っております。

※図書館広報誌は、図書館HPでも閲覧可能です。(一部対象外) 詳しくは <http://library.rikkyo.ac.jp/yourlibrary/> でチェックしてみてください。



図書館は広報誌を通じて、利用者の皆さんに役立つ図書館の「今」を発信してきました。これからも役立つ情報をお届けしますので、ぜひ活用してくださいね。